

協力隊の高畑です。会津本郷焼の技術継承をミッションに活動してきました。町で生活する中で、「広報見たよ」「頑張ってるね」と地域の方に声を掛けていただくことができました。その何気ない一言が日々の励みとなり、町の皆さまに支えられて活動できていたのだと、今あらためて感じています。協力隊だよりを担当するのは今回が最後となりますが、今回は、協力隊への志望動機の一つでもあった「陶と漆をつなぐ」取り組みと、今後についてお伝えします。

### 陶芸×漆芸

これまで、会津本郷焼と会津塗、二つの伝統工芸をつなぐ場面に関わる機会がありました。

一つ目は、酔月窯の磁器製の酒瓶に会津塗の吹付塗装を施していた商品についてです。職人さんの高齢により製作が続けられなくなる可能性がありましたが、漆芸業界に関わってきた経験を生かし、会津塗のお店や先生方に相談し、別の会社へつなぐことができました。伝統工芸の技術や商品が、次へと受け継がれた出来事でした。



▲塗りが施された磁器製酒瓶

二つ目は、会津本郷焼の器に漆で加飾を施す陶胎漆器のプロジェクトに、講師として関わらせていただいたことです。器への絵付けや加飾の指導、漆を焼き付け、仕上げるまでを担当しました。これまで積み重ねてきた絵付けや漆の経験、試作の積み重ねが形として生かされたと感じています。



▲絵付けワークショップの様子

今後も、作り手同士や地域とのつながりを大切にしながら、焼き物と漆、それぞれの良さを生かした取り組みを続けていきたいと思っています。

### 卒隊後について

卒隊後は、これまでの経験を生かし、町でできることに引き続き取り組んでいきたいと思っています。

#### ①絵付けの継続

酔月窯にて3年間、絵付けの技術を磨いてきました。卒隊後も筆を握り続け、焼き物の絵付けに携わっていききたいと思っています。

#### ②陶と蒔絵のコラボレーション

陶芸の絵付けと並行して、蒔絵の技術の修練も続けてきました。3年目には、焼き物と蒔絵の技術を組み合わせた蝶のブローチを開発しました。今後は、こうした取り組みを発展させながら、商品開発を通して、伝統工芸の新しい表現や可能性を形にしていきたいです。



▲絵付けした器



▲開発したブローチ

### おわりに

協力隊として着任し、本郷・高田・新鶴の魅力を改めて知ることができました。ものづくりをはじめ美味しい食、温泉、自然、そして温かい人たちに囲まれた町で生活し、活動ができたことを心から嬉しく思います。これまで支えてくださった皆さま、本当にありがとうございました。

#### 協力隊活動報告会

2026年3月7日(土)  
9時30分～12時15分  
場所：じげんホール

#### 今月の協力隊

たかはた わこ  
高畑 和瑚

会津美里町出身。  
「漆陶房 WANOWA」  
として商品を展開中。

